

お知らせ

サステナビリティ

「日本エラストマー株式会社 大分工場」がEcoVadis社のサステナビリティ調査で「プラチナ」評価を前回に続き2度目の獲得

2025年11月28日
旭化成株式会社

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、社長:工藤 幸四郎、以下「当社」)は、クラサスケミカル株式会社(本社:東京都港区、社長:福田 浩嗣)との合弁会社である日本エラストマー株式会社(本社:東京都千代田区、社長:岩佐 正義)の大分工場(大分県大分市)が、2025年10月にEcoVadis社(本社:フランス)のサステナビリティ調査において、最高位となる「プラチナ」評価を獲得することをお知らせします。この「プラチナ」評価は、評価対象企業のうち上位1%に入る企業に与えられるものであり、日本エラストマー株式会社は、2023年の初めての獲得に続き、2度目となります。

当該調査は「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野において、企業のサステナビリティへの取り組みを評価するものです。今回はその中でも「環境」と「労働と人権」に関して特に高い評価を受けました。



EcoVadis社の評価は持続可能性に関する国際的な規格に基づいており、評価対象企業は世界180カ国、200以上の業種、15万社に及びます。そして企業のサステナビリティに関する取り組みを評価する客観的な基準として、このEcoVadis社による評価を認める動きが世界的に広がっています。

旭化成グループは、グループを挙げてサステナビリティ推進活動に取り組んでいます。今回の評価結果を糧によりいっそう取り組みを強化し、「持続可能な社会」の実現の一翼を担ってまいります。

EcoVadisの概要

› EcoVadis社ホームページ □

日本エラストマー株式会社の概要

会社名 : 日本エラストマー株式会社
設立年月日 : 1972年8月21日
住所 : 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー(東京ミッドタウン日比谷)
代表取締役社長 : 岩佐 正義
持株比率 : 旭化成株式会社75%、クラサスケミカル株式会社25%
事業概要 : 合成ゴム・エラストマー製品の製造

以上

[▶ ニュース一覧へ](#)